

令和5年度9月補正予算案のポイント

大雨災害からの復旧や防災・減災対策、凍霜害被害への対応など県民生活の安全・安心の確保に取り組むほか、長期化する物価高を契機としたエネルギー構造転換の加速化、教育環境の整備、信州ブランドの価値向上と発信などに必要な補正予算を編成

物価高への対応については、今後予定されている国の経済対策を最大限活用し、速やかに追加策を実施

《補正予算額》	一般会計	101億4376万6千円
	(債務負担行為)	10億9174万3千円

《主な内容》

県民生活の安全・安心の確保 99億922万7千円

大雨災害への対応（災害復旧、補助・県単独公共事業）

- ・ 被災した道路、河川、砂防施設、荒廃森林、農地等の迅速な応急対策・復旧工事等を実施

安全・安心な県土づくりの推進（補助公共事業等）

- ・ 頻発・激甚化する災害に備え、緊急輸送道路や砂防施設等の防災・減災対策を推進
- ・ 流域治水の取組を推進するため、県有施設に雨水貯留タンクを前倒しして設置

道路リフレッシュプランの推進（県単独公共事業）

- ・ 損傷が進んでいる道路インフラを集中的に修繕するための予算を増額

令和5年4月の凍霜害による農作物被害への対応

- ・ 農業者の営農継続に向け、被害果実の流通・販売対策への支援や利子助成を実施

暮らしの安全確保

- ・ しなの鉄道株式会社が安全対策として実施するコンクリート製枕木への更新を支援
- ・ 自転車の安全な利用の促進に向け、高校生等へのヘルメット購入助成を実施
- ・ 銃器等を使用した犯罪への対策強化に向け、警察装備資機材等を整備

エネルギー構造転換に向けた取組 7154万2千円

- ・ 事業者や市町村等と連携し、マイカー移動から公共交通等への転換やEV化を促進
- ・ 病害虫被害木等の伐採・搬出経費を助成し、木質バイオマス用材等への利活用を促進

教育環境の整備 1億4351万4千円

- ・ 児童生徒の増加や老朽化に対応するため、松本・若槻養護学校の校舎改築等に向けた設計に着手
- ・ 学生の演習環境の充実及び地域の保育ニーズに対応するため、福祉大学校保育実習室を改修

信州ブランドの価値向上と発信 700万3千円

- ・ 「発酵・長寿県」としてのブランド力向上に向け、発酵食品の魅力発信イベントを開催

県民生活の安全・安心の確保

大雨災害への対応

災害復旧事業 1億1953万7千円（債務負担行為 1億7803万4千円）

<建設部>

被災した道路、河川、砂防施設等を迅速に復旧

- ・復旧箇所 351か所（飯田市、喬木村、伊那市ほか）

補助公共事業 1億3230万円

<建設部・林務部>

被災した道路や林道の再度災害防止のための改良工事等を実施

- ・被災箇所の改良工事等 2か所（松本市、喬木村）

県単独公共事業 47億4751万1千円（債務負担行為 3億2000万円）

<建設部・林務部・農政部>

被災した道路、河川、砂防施設、荒廃森林、農地等の応急対策、復旧工事等を実施

- ・被災箇所の復旧工事等 314か所（長野市、茅野市、天龍村ほか）

安全・安心な県土づくりの推進

補助公共事業 42億8680万3千円

<建設部>

頻発・激甚化する災害に備え、緊急輸送道路や砂防施設等の防災・減災対策を推進

- ・整備箇所 82か所（松本市、中野市、山ノ内町ほか）

雨水貯留タンク設置(流域治水推進)事業 503万6千円

<建設部>

流域治水の取組を推進するため、企業版ふるさと納税を活用し、県有施設に雨水貯留タンクを前倒しして設置

- ・設置数 16基

[県有施設への雨水貯留タンク設置数:102基 (2023年度)]

道路リフレッシュプランの推進

県単独公共事業 5億2200万円

<建設部>

損傷が進んでいる市街地や観光地へのアクセス道路[※]を集中的に修繕

- ・修繕箇所 51か所（長野市、松本市、小海町ほか）

※ひび割れ率40%以上の道路

[リフレッシュプランによる追加舗装修繕延長:170km程度 (2027年度)]

令和5年4月の凍霜害による農作物被害への対応

(新) 凍霜害対策緊急支援事業 2983万6千円(債務負担行為 743万円)

〈農政部〉

被災した農業者の営農継続を支援するとともに、農業生産の安定を確保

- ・被害果実の有利販売の取組を支援する市町村に対して助成
- ・農業者の資金借入が無利子となるよう、市町村や金融機関等と連携し利子を助成

[助成先市町村数(営農継続):19市町村(2023年度)]

[助成先市町村数(利子助成):21市町村(2023年度)]

暮らしの安全確保

地域鉄道安全性向上支援事業 833万3千円

〈企画振興部〉

しなの鉄道株式会社が安全対策として実施する設備整備を支援

- ・補助対象者 しなの鉄道株式会社
- ・補助対象経費 コンクリート製枕木への更新に要する経費
- ・補助率 1/6以内

(新) 自転車用ヘルメット購入支援事業 1522万3千円

〈県民文化部〉

自転車の安全な利用の促進に向け、高校生等へのヘルメット購入助成を実施

- ・補助対象者 市町村
- ・補助対象経費 高校生及び高齢者(65歳以上)の自転車用ヘルメット購入費用に対し市町村が助成した経費
- ・補助率 1/2以内
- ・補助上限額 1,000円/個

[全世代の自転車用ヘルメット着用率:80%(2024年度)]

(新) 銃器等使用犯罪対策強化事業 4264万8千円

〈警察本部〉

銃器等を使用した犯罪への対策強化に向け、警察装備資機材等を整備

エネルギー構造転換に向けた取組

(新) マイカー移動からの転換等促進事業 2154万2千円

〈企画振興部・環境部〉

事業者や市町村等と連携し、マイカー移動から公共交通等への転換やEV化を促進

- ・スマートムーブ通勤の普及・促進
協力企業を通じた従業員のノーマイカー通勤等やEV等への転換の促進、企業の取組事例の紹介、ラジオCM放送や啓発ポスターによる県民参加の呼びかけ
- ・ノーマイカー通勤・移動への転換に向けたモデル的な取組創出
市町村との連携により、モデル地域における通勤実態を調査・分析の上、公共交通等やEV等への転換を促すプランを提案し、横展開

[温室効果ガス排出量(運輸部門):3,833千t-CO₂(2019年度)→1,912千t-CO₂(2030年度)]

[公共交通機関利用者数:69,077千人(2020年度)→100,000千人(2026年度)]

(新) 地域木質資源活用緊急対策事業 5000万円

〈林務部〉

病虫害被害森林の早期復旧及び地域資源の有効活用を図るため、木質バイオマス発電や熱利用の燃料材として枯損木を利活用する取組を支援

- ・補助対象者 林業事業者
- ・補助対象経費 木質バイオマス燃料等への資源活用を行う伐採、搬出、運搬等に要する経費
- ・補助率 9/10以内

[木質資源利用量:3,000m³ (2023年度)]

教育環境の整備

特別支援学校施設整備事業 1億1865万円 (債務負担行為 5億1353万6千円)

〈教育委員会〉

児童生徒の増加や老朽化に対応するため、特別支援学校の校舎改築等に向けた設計を実施

- ・実施施設 松本養護学校、若槻養護学校

(新) 福祉大学校保育実習室施設改修事業 2486万4千円

〈健康福祉部〉

学生の演習環境の充実と地域の保育ニーズに対応するため、福祉大学校保育実習室を改修

- ・3歳未満児受入のための保育室増設 等

信州ブランドの価値向上と発信

(新) 「発酵・長寿NAGANOの食」発信事業 200万3千円

〈産業労働部〉

「発酵・長寿県」としてのブランド力向上に向け、民間コンソーシアムとの協働により、発酵食品の魅力を広く発信するイベントを開催

- ・開催日(予定) 令和5年11月24日(金)～25日(土)
- ・開催場所 長野市
- ・内容 基調講演、パネルディスカッション、発酵食品の展示即売会 等

[県内食品製造業の製造品出荷額:7,363億円 (2019年度) →7,900億円 (2027年度)]

(新) インバウンド情報発信強化事業 500万円

〈観光部〉

インバウンド需要の更なる喚起と外国人観光客の利便性向上を図るため、多言語対応の観光マップを中心とした情報発信媒体を制作

- ・多言語対応の観光マップ及びデジタルパンフレットの制作

[外国人延べ宿泊者数:207万人 (2027年度)]

その他

(新) がん看護に係る多職種連携医療人材養成事業 800万円

〈健康福祉部〉

がん医療の現場で生じる緩和ケア等の課題の解決に向けて、多職種との連携・協働により適切な対応ができる医療人材を養成

- ・実施主体 看護大学大学院
- ・実施内容 がん看護医療人材養成プログラムの開発及び実施

[人材養成プログラムの参加者数:10人 (2023年度)]

(新) インバウンド向け冬山安全対策事業 200万円

〈観光部〉

バックカントリースキーを含む冬山遭難防止のため、外国人観光客を中心とした入山者に対し、安全登山の啓発を実施

- ・県観光公式サイトでの多言語情報発信
- ・外国人観光客向け啓発動画・チラシ等の作成

[冬山シーズン（12月～3月）遭難件数:58件（2022年度）→54件(2023年度)]

航空機運用経費（債務負担行為 7274万3千円）

〈警察本部〉

航空機の長期運用停止を回避するため、令和6年度に点検予定の耐空検査等を前倒して実施